

# 伊豆半島ユネスコ 世界ジオパークが誕生

＝地域の活動、地質価値に高い評価＝

4月17日、ユネスコ（国連教育科学文化機関）はユネスコ世界ジオパークに伊豆半島ジオパークを含む13地域を新たに認定しました。地質遺産の国際的価値と函南町を含む伊豆半島15市町民の活動が高く評価された結果です。

問合せ先/産業振興課(979-8173)

ユネスコ世界ジオパークとは？

ユネスコ世界ジオパークとは、地質学的に見て国際的に価値のある場所や景観が、①保全②教育③持続可能な開発の3つが一体となった考え方により管理された1筆書きで描ける地理的エリアのことです。（伊豆半島ジオパークは海岸から3キロの海域も含む）

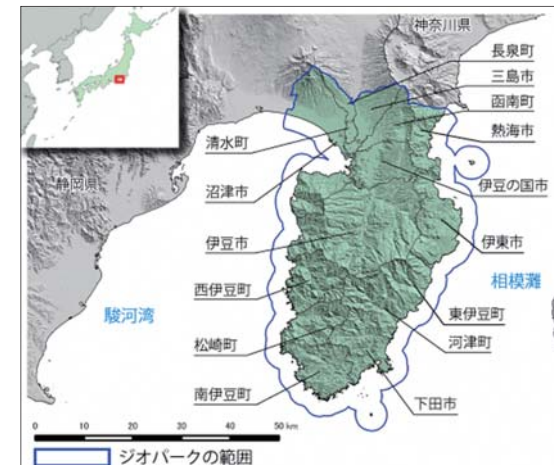
ジオパークでは、地球資源の持続的利用、気候変動の影響緩和、自然災害の影響軽減など、社会が直面する重要課題への意識と理解を高めるため、地域のあらゆる自然・文化遺産と関連づけて、地質遺産を活用することが重要とされています。歴史と現代社会の中で、地域の地質遺産がいかに重要であるかという意識を高めることで、住民一人ひとりに自分たちの地域に対する誇りを与え、一体感を強めます。また、地域の地質資源を保護しながら、ジオツーリズムを新たな収入源の1つとし、ジオパークの理念を活用した革新的な地元企業や新しい雇用、質の高い研修コースの開発などが期待されます。

ユネスコ世界ジオパークは、国内では9地域目ですが、平成27年に世界ジオパークがユネスコのプログラムとなつてからは、国内初の認定です。全世界では、38カ国140地域が認定されています。

持続可能な伊豆半島へ

ユネスコ世界ジオパークになったということは、皆さんの生まれ育った大地が世界的価値があることを意味しています。普段目には見えない山々や海岸の地形が伊豆半島の特異な成り立ちによっていることを知れば、郷土への誇りも高まることでしょう。

世界認定はゴールではありません。4年ごとに再審査があり、活動の評価によっては世界認定が取り消されてしまいます。今が発見の時です。貴重なジオサイトを保全し、それを教育や地域振興に生かして、世界に誇れる持続可能な伊豆半島をつくり上げていきましょう。



▲伊豆半島ジオパークのエリア

伊豆半島ジオパークとは？

伊豆半島ジオパークには15市町のエリア全てと海岸から3kmの範囲の海域が含まれています。このエリアの中で、地質的に貴重な場所など114箇所をジオサイトと呼び主な見どころとしています。またその中で、地質・地形・歴史などそのジオパークを特色付ける見学場所や拠点となる施設のことをジオポイントと呼びます。函南町内のジオサイト、ジオポイントの一部をご紹介します。



火雷神社(田代盆地)



十国峠展望台(十国峠)



オラッチェ(丹那盆地)



月光天文台(月光天文台)



柏谷横穴群(柏谷)



丹那断層公園(丹那盆地)



西丹那駐車場(玄岳)

ジオパークを知るために

伊豆半島ジオパークを知るためには、公式ウェブサイト (<https://izugeopark.org/>) のほか、各種SNSも運営されているので、ご覧ください。また、ジオパークミュージアム「ジオリア」（伊豆市修善寺838-1）では、プロジェクトマップなど、伊豆半島の成り立ちや魅力がご覧になれます。一度、訪れてみてはいかがでしょうか。



公式ウェブサイト

◀町内のジオの見どころを紹介しているガイドブック「かなみくる」は役場やオラッチェ内にある「ジオッチェ」、ジオリアなどで入手可能です。

